

市議会だより



市議会ホームページ

発行 / 喜多方市議会 編集 / 議会広報広聴委員会



3月定例会

令和3年度当初予算審議

おじゃまします市議会です	2
3月定例会審議内容	4
一般質問16名	8
各常任委員会からの政策提言	20



おじゃまします 市議会です

特

集

喜多方准看護高等専修学校に

行ってきました。

令和3年4月13日(火)、喜多方准看護高等専修学校におじゃまして、看護師を目指す2年生の皆さんにお話をお聴きしました。

准看護師を目指すきっかけは

佐藤唯 もともと介護の仕事をしていて、同じ職場の方からの勧めもあり興味を持ちました。

佐藤亜 祖父が入院していた時に何もしてあげられない自分の無力さに気づいたことや、姉が看護師として働く姿を見て、目指すことに決めました。

安部 介護福祉士として働いていましたが、姉二人が看護師をしており、その姿を見て入学しました。



あべ たかゆき
安部 貴之さん
(喜多方市)

澤 病院で働いていた時、医師や看護師が患者さんに寄り添う姿を間近で見て素晴らしいと感じ、そんな看護師になりたいと思い入学を決めました。



よこざわ ともみ
横澤 知美さん
(山形県白鷹町)

野地 もともと憧れていた職業で、結婚を機に喜多方へ来て、この学校の存在を知り入学を決めました。

長谷部 祖母が病気がちで、お見舞いに行くたび看護師さんにやさしく接していただいたことがきっかけで目指すようになりました。



はせべ りじゅ
長谷部 璃珠さん
(喜多方市)

になりました。

横澤 小さい頃から憧れていて、現在、看護師の補助として働いていますが、もっと患者さんのために役に立ちたくて目指すことにしました。

大沼 姉がこの学校の卒業生で、様子を聞いていましたし、現在、介護の仕事をしています。体の仕組みなどを勉強して、もっと患者さんの役に立ちたいと思い入学を決めました。

学校の特徴、アピールできる点を教えてください

大沼 資格試験合格률100%、そしてアットホームでいろんな年代の人と親しくなれるところです。

横澤 先生が一人ひとり



野地 純子さん
(喜多方市)

の悩みを聞いてくれ、常に私たちを気にかけていてくださいます。

長谷部 市内の医療機関からたくさん先生の来てくださり、専門的な知識が学べるところです。

野地 学ぶ環境が整い、小学校や高校が近隣にあるため、児童や生徒の姿が刺激にもなります。

澤 先生が「コロナ禍の中よく入学してくれた、君たちは金の卵だ」と話してくれ、授業ではメリハリのある指導をしてくれるところですよ。

安部 時間を工夫して勉強とアルバイトが両立でき、先生方がやさしく教えてくれる学校です。

佐藤亜 少人数で一人ひとりの勉強や生活をしっかり見てくれます。周囲

に桜がたくさんあるなど、立地環境も好きです。
佐藤唯 先生たちが一人ひとりに目を向け、親身



佐藤 唯史さん
(喜多方市)

になり丁寧な指導をしてくださいます。

若者の政治参加について

佐藤唯 選挙権がある高校生の頃から政治に慣れ親しむことが大切だと思います。

佐藤亜 議員の仕事の内容や活動の様子が見えないので、PRの仕方を工夫して欲しいです。

安部 選挙カーからの声しか聞こえない印象がある。もっと政策のわかるPRが必要だと感じます。

澤 投票しても何も変わらないような気がして

まいます。こういう街にして欲しいというビジョンが若者にもないことも原因かなと思います。

野地 結婚をして家庭を持つてから政治に関心が出てきました。若者の関心を惹くようなインパクトのあるPRが必要と感じます。

長谷部 政治に対する10代の意識は低いので、高校等にポスターやパンフレットを配布しPRしてみたいと思います。

横澤 議会が遠い存在に感じます。選挙に行っても誰に投票して良いのかわからないのが正直なところですよ。

大沼 議会中継などを見て、一つの物事を決めるのにも多くの時間と労力がかかることを知ること



大沼 明子さん
(山形県米沢市)

も関心を持つために必要だと感じます。

議会に望むことは何ですか

大沼 とにかくわかりやすい議会にして欲しいと思います。

横澤 議会がもっと身近な存在になって欲しいと思います。

長谷部 若者に人気のあるツイッターやインスタグラムなどによる情報発信を充実して欲しいと思います。

野地 結婚してから入学しましたが、奨学金を幅広い年代で活用できるようなになれば看護師を目指す人がもっと増えると思



いづみさん
(会津若松市)

うので、議論をお願いします。

澤 喜多方には夜間保育がないので、夜働きた



佐藤 亜紀さん
(郡山市)

ても働けません。私と同じような人はたくさんいると思うので、検討をお願いいたします。

安部 議会は長時間やっているイメージがありますが。もっと簡潔にわかりやすくできれば良いと思います。

佐藤亜 私たちの声が届かないところにいる気がします。直接お話しできる身近な存在になって欲しいと思います。

佐藤唯 コロナ禍の中、医療現場がますます厳しさを増しており、人材確保のため、医療の道を目指す人の支援策をお願いします。

市民生活を守る当初予算決まる

3月 定例会

令和3年3月定例会は2月25日から3月16日までの17日間の会期で開催されました。
市長提案により、予算案24件、条例案15件、人事案件2件、その他4件、請願4件、陳情2件と議会から議会案5件が提出されました。

令和3年度 当初予算

会計	補正額
一 般	269億 100万 円
特 別	118億2,436万6千円
下水道事業(収入)	22億1,378万6千円
// (支出)	25億2,590万5千円
水道事業(収入)	13億6,221万3千円
// (支出)	17億 472万2千円

令和2年度 補正予算

会計	補正額	累計
一 般	△3,294万9千円	324億6,113万4千円
特 別	△2,351万4千円	121億7,938万8千円
下水道事業(収入)	△469万1千円	20億 676万5千円
// (支出)	△246万2千円	22億9,215万 円
水道事業(収入)	442万9千円	14億7,458万6千円
// (支出)	26万2千円	17億4,432万 円

3月
定例会

当初予算の主な事業

ひとづくり・交流拠点複合施設整備事業



屋内子ども遊び場や子育て支援施設、介護・看護人材の育成拠点施設の整備。
[予算額] 8億5,701万7千円

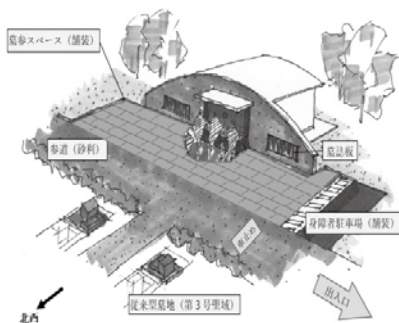
鳥獣保護及び有害鳥獣捕獲経費



電気柵購入事業補助金や未利用果樹等伐採事業補助金など、鳥獣被害に対応する経費
[予算額] 4,787万4千円

補正予算の主な事業

上ノ山墓地公園合葬式施設建設工事



多様化する墓地利用形態ニーズ対応及び後継者不在墓地問題の解消のため合葬式施設を建設
[補正額] 3,000万円

新しい生活様式対応設備等支援補助金



コロナ禍での新しい生活様式への対応、新たな需要への対応などの取組等を行う市内商工業者を支援
[補正額] 2,250万円

議案審議・委員会の審査から

集会施設整備事業と譲渡方針の変更はあるのか？

各行政区にある集会施設は合併前の市町村の方針の違いにより、行政区所有と市所有のものがある。

負担の公平をはかるために、修繕費等を公的負担にすると共に、市所有の施設を行政区所有とすべく譲渡を進めてきた。

令和2年度の執行状況は？

集会施設整備事業補助金を50万計上した。地域から9件の申し込みがあり42万の実績となっている。

内容は床上の補修、トイレの改修、屋根の塗装、外壁の張り替えなど細かな修繕で交付額の最大は7万円である。

譲渡の場合は施設の使用用途廃止をして普通財産化した後、地縁団体をつくり市と譲渡契約を結ぶことになっ

ている。

予算を使いきれなかったのは要望がなかったからではなく、若者が流出し戸数も減り住民の活力が低下しているからではないか。各施設がどのように使われているか実態調査が必要ではないか？

平成30年度から地域の要望にすぐ応えられるように、補正予算対応から当初予算化して対応している。

年によって申請件数の波はあるが、既に次年度分の相談も来ているので今年度はこのままでいきたい。

高齢化した行政区に一律に譲渡する方針は変更すべきではないか？

現在、部局横断的な協議を行い方針を変更する方向性で検討中である。

大型事業により市債が増加

歳出の公債費23億円に対し、歳入の市債が32億円と9億円の差があり、市債バランスがとれていない。

それは、ひとつくり・複合施設の整備事業、災害情報連携システム再構築事業、次年度の普通交付税の臨時財政対策債への振替額が大きくなり、一時的に借入額が増加していることにある。

予算編成の10%削減シーリング枠をかけ、どの程度減らせたのか？

2億500万円くらいを一般財源ベースで減らす目標だったが、その後歳入の状況も変わり、最終的には8千400万円ほど減額した。

消耗品など細かいところにシーリングをかけるのであれば、大型事業等を見直すべきではないか？

新市建設計画で既に着手

済みのものは、途中で中断することは困難である。毎年、中期財政計画を口シーリングして、年度間の調整や事業時期をずらしたり、事業量を抑えて何年かに分けて実施することなどの調整をしている。

令和3年度の経常収支比率が99・5%になる。100%に近いということは財政の状況がどのようになるのか？

いろいろな政策的事業に振り向ける財源が少なくなり、財政の弾力性が失われる。令和6年度には92・4%になるよう低減させていく。



小中学校適正規模適正配置の 進捗状況は

この問題は、令和元年に「人口減少や少子化等に対応した児童生徒の望ましい学習環境」を作るための基本方針が教育委員会から出され、昨年、議会としても「検討特別委員会」での審議を踏まえ議会の意見を尊重するように提言してきた。

今後の同審議会の開催回数
は？

令和3年度は7回実施する予定。審議状況により、審議会予算の補正もある。

同実施計画のたたき台が示された。審議会委員に対し、地域設定と学校規模のシミュレーションは、確定した印象を与えるが真意は？

提案の仕方が不十分だった。たたき台はあくまでも基本方針に基づくものである。審議会の意見を頂く考えであり、シミュレーションから選ぶ趣旨では無い。

2060年度の展望人口をベースとした資料だが、これは現状の出生数と乖離しており、市民の説明には無理があるのでは？

資料は展望人口で作成しているが、基準人口・住民台帳上の児童数の推移、中間の令和30年度の人口ビジョンの資料も精査できる段階なので、これらをもとに諸会議等で意見をいただく。

コロナ禍で計画通りに進める必要はない。上三宮小学校のスケジュールも提示しているが、時間を掛け丁寧な説明が必要と思うが？

今後、地区の皆様や未就学児童保護者との意見交換を丁寧にしていく。

「統合ありきではない」と教育長が答弁している。現状維持も含め、将来の学校のあり方を市民とともに考える形で進める。

ポストコロナ社会を見据え、 さらなる対策を求めろ！

議会としてコロナ感染症対策で市内事業者への支援策を求めた。「新しい生活様式対応設備等支援補助金」事業はその一環である。

収束の見えないコロナ禍で経済活動に取り組む市内事業者からは、「さらなる対策には他の取組み事例の情報共有」が求められている。

3密・濃厚接触を避けるための対応や、新たな需要対応を認定する基準は？

例として、減収を防ぐための飲食店の換気システムの改修、新たな需要へ対応するマスク製造のための設備投資など、認定のガイドラインは今後詰めていく。

事業は令和2年度補正で実施され、新年度は2巡目になるが、取組み事例の共有と利用条件はどうか？

新年度は、リセットになるが条件を付して実施する。

他の取組み事例は事業計画時に相談してほしい。

「コロナに負けない」新しい喜多方観光・物産PR事業は業務委託になる。物産品の選定はどうするのか？

ポストコロナを見据え物産事業者への支援と観光PRを目的とし、本市からは人は行かず現地での業務委託になる。今事業は、品物だけの協力になるため物産品は幅広く呼び掛ける。



塩川児童クラブ、施設拡充でも足りず!?

塩川児童クラブは昨年11月で142名の登録児童がいる。令和3年度に160名程度を見込み、補正予算を組み塩川保健福祉センターの旧事務室を改修して受け入れ体制を整備した。しかし新年度に、180名の申込みがあり、密の状態は変わらず続いている。

塩川児童クラブの現状はどうなっているか?

4年生以上の25名を新しく改修した部屋へ振り分けを行ったところであるが、予定より多い180名の申込みがあり、塩川児童クラブは15名とこれまでと変わらぬ密の状態が続く予定である。

その他の施設を開放して密の状態を回避すべきではないか?

周辺地区にある公共施設や民間の施設を借り上げる等の方法が考えられる。児

童クラブ内の一人あたりの面積を確保し、密にならない対応策を考えていく。

塩川児童クラブの問題は、昨年12月議会でも子ども子育て会議で「新しい施設を見つけていく」と答弁があった。早急に手を打つべきでないか?

急激な利用申込みの増加によって、当面の措置として今すぐ出来ることは何かという観点で、塩川保健福祉センターの改修で対応した。

今後できるだけ早い段階で、施設の整備等、単位面積の確保等の環境づくりに努めていく考えである。



「日中線しだれ桜並木協力金」徴収方法の再検討を!

「日中線しだれ桜並木協力金」事業は、本市の観光資源である桜並木を訪れる観光客に対して、旧喜多方商業高等学校跡地を利用した駐車場において協力金を徴収するものである。

駐車場の料金として正式に徴収すべきではないか?

駐車場料金としての形になれば、条例化し施設の位置づけになる。事業は季節限定であり歳入面での工夫として協力金で提案した。

徴収方法と記念品的なものと考えているのか?

協力金の受取りは、商業高校跡地の駐車場のみで、車1台300円とした。協力金を頂いた方には桜のステッカーを渡す。

周辺には無料で駐車もできる。協力金の在り方について検討すべきではないか。

募金箱型も考えたが紛失の可能性がある。審議を踏まえ、歩いている人からの協力金の方法も考えたい。

※産業建設常任委員長口頭付言(付け加えて報告すること)

協力金の徴収は今年度が初年度でもあり、実施にあたっては委員会での審議を踏まえ担当課において実施方法や金額の考え方など改めて協議・精査されたい。



喜多方市政のココが知りたい！

一 般 質 問

一般質問は、市政全般について市の方針を質すものです。

3月定例会の一般質問は3月1日から3月4日までの4日間行われ、16名の議員が登壇し、市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

文面は各議員の自己編集とし、質問した項目のなかから1項目程度を要約して掲載しております。(すべての質問項目は、オンデマンド配信でご覧いただけます。また、開期中はインターネットで中継を配信しています。)



※各議員のQRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、オンデマンド配信でご覧いただけます。

ワクチン接種、集団接種とかかりつけ医での接種を検討すべき

市長 周辺地域の集団接種と市外かかりつけ医の接種を検討する



齋藤 仁一 議員



問 既往症のある方々のワクチン接種については、かかりつけ医の接種を希望している。かかりつけ医が市外の場合でも対応できると厚生労働省も認めているが、どう対応するのか。

答 かかりつけ医が市外の場合、かかりつけ医の判断でできるとなっているが、ワクチンの供給量などその状況も踏まえてとなっている。

問 周辺地域の高齢者の方々の足の確保を含め、集団接種を希望しているが、どう対応するのか。

答 市は、個別接種の方向性であるが、西会津等では集団接種を考えている。周辺地域については、足の確保と合わせて集団接種について検討する。

問 基礎疾患など既往症のある方々は、自らの体の状態を把握しているかかりつけ医による接種を希望している。その方向で検討してほしい。

ワクチン接種の方法は、どうするのか。

コロナワクチン接種の予算、全市民の7割分で間に合うか



市長 接種費用は国が全額負担。希望者全員が接種できるよう対応する

山口 和男議員



問 ワクチンの国から本市までの供給予定ルートは。

答 医療機関は予約状況に応じて市町村へ必要量の情報を送り、市町村は県を通じて国へ希望量を知り、国は全国の必要量を集約し、配分量を決め、メーカーから超低温フリーザーを設置した医療機関「基本型施設」へ直接配送する。その後、接種を行う医療機関「サテライト施設」へ移送される。

問 超低温フリーザーが設置される「基本型施設」は市内に何カ所予定され、サテライト施設へはどのように移送するのか。

答 現在のところ基本型施設は1カ所であるが、喜多方医師会と相談のうえ、もう1カ所設置し、市内2カ所からサテライト施設へ移送する予定である。必要数を保冷バツクで運ぶ業務は市職員で対応したい。

問 16歳以下の市民にも、希望を募ってPCR検査や予防接種を実施するべきであると思うが、市長の考えを伺う。

答 総合的に検討させていただきたい。わが国の国民はわが国で守っていくということ、様々な機会をとらえて声を大にして国に要望して参る。

問 16歳以下の市民にも、希望を募ってPCR検査や予防接種を実施するべきであると思うが、市長の考えを伺う。

答 総合的に検討させていただきたい。

消防団再編に向けての市の考えは！



市長 新たに機能別消防団員を制度化する

問 本市消防団の再編に向けた取り組み状況は？

答 令和2年度から令和3年度にかけて、各地区において再編についての説明会を実施する予定であったが、コロナ禍により各地区での説明会が実施できなかった。

今後は、令和3年度内に行政区への説明や再編最終案を消防団と協議を進めて、令和4年度に新体制となるよう準備を進める。

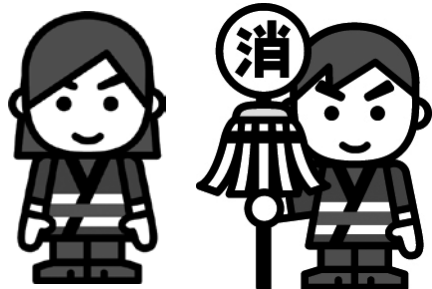
※機能別消防団員とは
消火活動の後方支援や災害時の避難誘導など限定した活動を行う団員

問 現在、市で進めている小中学校適正

規模適正配置の考え方とコミュニティ・スクールの考え方の方向性が違っているが、市の見解は？

答 コミュニティ・スクールの考え方は、地域とともに教育活動を創造する事を目的として学区ごとに設置するものであり、小中学校適正規模適正配置は、児童生徒の望ましい学習環境を整える事を目的としているので、それぞれの目的の異なる取り組みとなる。

山口 文章議員



新型コロナウイルスワクチン接種方法は？



市長 身近な「かかりつけ医」等での個別接種となる

後藤 誠司 議員



問 医療機関による個別接種の予定のようだが、体育館等での集団接種の考えはないか伺う。

答 集団接種の場合、会場での副反応発生時の対応のむずかしさや、同じ会場に多くの人が集まることでの感染リスクがある。日頃から被接種者の健康状態を把握している身近な「かかりつけ医」による接種が、安全確保の観点から有効であることから、市内医療機関を中心とした個別接種とする方向で喜多方医師会と調整している。

問 高齢者や運転免許返納者等への、接種場所までの送迎の考



えはどうか。
答 個人で医療機関の予約を取り、接種に向かうことを想定しているが、できるだけ多くの方の接種が行われるよう、現在検討している。

問 今後のスケジュールはどのようなものか。

答 3月中旬から医療従事者の接種が開始され、次に高齢者接種、その後基礎疾患を有する方、高齢者施設の従事者を含む一般の接種の順で進められる。

どうする小中学校適正規模適正配置!!



市長 さまざまな声を反映させていきたい

問 上三宮小学校の先行検討はこれまで答弁してきた「市域全体的な視点」の方針に反するのではないか。今回の事態は市教委の検討が遅れたために起こった結果ではないか。

答 複式学級となる児童数が今後も継続することを想定していたが、令和2、3年度と新入学児童が見込まれない状況となった。このことはそれぞれの家庭の事情によるもので想定外の状態となった。

問 これまでの適正規模適正配置の検討が遅れてきたことが今回の事態を招いた。保護者のニーズをどのよ

うに捉えるのか。
答 さまざまな声を反映させて考えていきたい。

問 方針の一つにある「同じ小学校に通っている児童は同じ中学校へ」は、第一小学校のことを指しているが内容は、個別の小学校が特定される方針はおかしいのではないかと。また、中学校区から検討を進めるとした方針と矛盾しないか。

答 第一小学校について進学先が第二中学校と第二中学校に分かれることについては、これまで築いてきた人間関係等が分断とならないよう、第二中学校へ進学する案としたもの。

渡部 一樹 議員



市内高校の跡地を活用したまちづくりを！



長澤 勝幸 議員



市長 対応方針等の整理と基本構想の見直しも検討

問 議会として、市内高校の存続を求め、今春に新たな喜多方高校が開校し、今後は、より現実的な跡地活用の考え方が求められる。市として、長期・総合的視点でまちづくりの全体構想を示すべきと考えるがどうか。

答 県の考え方や市内外の企業・団体等の動向、公共施設等総合管理計画の個別計画との関連や財政面の負担を考慮する。跡地への対応方針等の整理と「旧喜多方病院跡地及び旧喜多方商業高等学校跡地整備計画基本構想」の見直しも含め検討する。

問 高校統廃合による更なる跡地活用問題など状況が変化している。市の財政状況を見たとき、法に基づいた県の条例には、「行政財産のうち寄附に係るものの用途を廃止した場合：普通財産をその寄附者又はその相続人に譲与し、譲渡する」とされ、譲与、又は低額で譲渡することができると考えるがどうか。

答 土地の譲渡の問題については県の「財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例」に基づいて協議が進むものとする。今後、東高校の跡地活用の対応も求められることを踏まえ全体的な考え方をまとめる。



介護保険の20年について問う



市長 高齢者を社会全体で支えるしくみとして定着している

問 読売新聞の昨年106自治体アンケートを読んだが、そこでは約9割の自治体が介護保険制度を今後10年現行のままで維持するのは「困難」と回答している。

答 その理由の第一位は「人材や事業所の不足（74名）、第二位は「保険料の上昇に住民が耐えられない」（64名）であった。喜多方市は大丈夫なのかという問題意識を持って実態を伺う。

答 喜多方市内の事業所のホームヘルパーの年齢構成はどうか。

答 20才代14%、20才以上52%、60才以上45・7%である。

問 福島県の最低賃金は800円/時である。喜多方市内の福祉施設介護員（短時間）の1時間当たりの賃金を伺う。

答 平均890円/時である。

問 年金が月額1万5千円以下の人は市の窓口で保険料を納めるが、滞納はないか。

答 滞納は35人である。給付制限をしている方はいない。滞納処分となる「財産の差し押さえ」は行っていない。

小澤 誠 議員



健康長寿のまちづくりをどう進める！



市長 健康格差・経済格差のない高齢者の医療充実に努める

佐原 正秀 議員



問 健康寿命の延伸が国の施策の柱となっているが、喜多方市民の健康意識は高まっているが、一人ひとりが正しい健康の実態を理解し、健康寿命の延伸に向けて歩むことの重要性を学ぶことが求められるが、その対策はどうする。

答 今後「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を予定しており、生活習慣病の発症予防・重症化予防及び高齢者のフレイル予防に取り組み、特に高血圧・糖尿病等の発症予防により、健康寿命の延伸に繋げる。

問 高齢者の見守りやインフォーマルな社会的支援のソーシャ

ルサポート、閉じこもり・孤独の防止等を地域でどのように工夫し、上げていく対策はどう進める。

答 年齢を重ねても住み慣れた地域で安心して生活を続けられるように、住民と関係者の話し合いの中で課題を共有し、地域づくりを進めていく「生活支援支えあい会議」の設立に取り組み、地域の課題や実情に応じたサービス等の創出を目指す。



今後の消防団員の処遇改善をどうする？



市長 市民の安全・安心を守るため体制整備を図る！

問 今後、団員の確保につなげるため、年間報酬の見直しや、出勤手当の支給など適切に処遇改善を進めるべきと考えるが市の考えは。

答 今後、消防団組織再編の検討に入るので処遇改善についても検討する。

問 消防団員自動車運転免許取得補助金（準中型免許やAT限定解除を必要とする団員に対して免許を取得する費用）の周知はどうするか。

答 本年度から開始した補助金であるが、再度幹部会議で周知すると共に、市のHPや広報等で広く周知する。

問 本市で備蓄している災害時の非常食はどのようにしているのか。

答 避難者を概ね70人と想定し、6千300食分を目標にアルファ米3千53食、ライスクッキー2千4食、乳児用液体ミルク312本を備蓄しており、年次計画で増やしていき、合わせて災害協定による流通備蓄により非常食を確保している。

問 今後のグリーン・ツーリズムの推進はどのように進めるのか。

答 令和8年度まで、関係機関と連携しながら、受入農家を10戸に、交流人口1万3千900人、教育旅行9千人を目標に推進していく。

十二村 秀孝 議員



市街区で、ごみの収集ルート改善の検討は



上野利一郎議員



市長 令和3年度から効率化・平準化の作業を進める

問 緊急事態宣言時期での家庭からの一般廃棄物の排出量の変化は。

答 令和2年4月から6月までの3か月間で3千71トン、令和元年度の同期が2千808トンで、9.4パーセント増加している。

問 ごみ集積所における主な課題とその対策は。

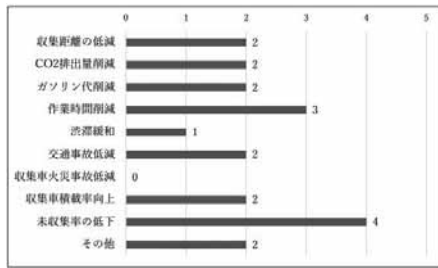
答 課題は、ごみ分別が不十分なことと、他地区からのごみの持ち込み、カラスや猫などによるごみの散乱である。

対策としては、適切な分別のため、各行政区長や廃棄物減量等推進員と連携して、市当局等の出前講座の実施

や、分別方法周知の回覧文書の配布、他地区からの持ち込みについては、集積所へ注意喚起の掲示物設置、散乱防止については、ごみカバーネットでの対策を案内している。

問 市街区での収集ルートの見直しは。

答 収集ルートが入り組んでいる地区があり、その見直しに向けて収集業者と意見交換を行いながら、令和3年度より作業を進める。



▲収集ルートの最適化による主な効果

空前の米あまり! 本市水稻農業の方向性は?



小島 雄一議員



市長 情報の周知徹底、生産調整により需給バランス確保

問 コロナ禍による外食店舗の営業自粛で、米の需要は大きく落ち込んでいます。業務用米の比率が65%で全国一高い本県産米の価格下落は深刻である。本年の生産調整をはじめ本市農業の方向性を伺う。

答 米の需給と価格の安定を図る為、令和3年産米については過去最大規模となる主食用米の作付け転換が必要である。

J A等関係機関と連携して直接支払い交付金や産地交付金を活用して、農家を取り組みやすい非主食用米の更なる作付拡大を推進する。

問 業務用米中心の販売だけでなく会津産コシヒカリを用いた高級家庭用米の路線が必要ではないか?

答 本市産コシヒカリは重要なブランドであるが現状ではかつての様な高価格を取り戻すのは困難である。

問 荒れ果てた中山間地や農業の担い手不足を解消するためJ A等と共同出資の法人の設立を考えないか?

答 考えていない。



新型コロナ感染対策として、市内事業者への更なる支援をすべき



菊地 とも子 議員



市長 市独自の支援策に取り組み、迅速に対応する

問 未だ、新型コロナウイルス感染症の蔓延が続いており、多くの事業者が経営状況の悪化に苦しんでいる現状をふまえ、市独自の更なる経済支援をすべきである。

答 市内経済の現状について、1月に実施した本市の「景気動向等調査」によると、昨年7月の調査結果に比べ、業況の回復傾向は見られたものの、全体的には依然として厳しい状況にある。

今後の支援として、雇用調整助成金申請等手数料補助金事業を今年度に引き続き、新年度においても実施する。

また、今後のポストコロナ社会を見据え、

「新しい生活様式」を取り入れた事業を展開する事業者に対して、新しい生活様式対応設備等へ支援補助金事業を継続して実施する。

県では、時短営業要請に協力した飲食店への協力金のほか、外出・移動の自粛要請により売り上げ減少の影響を受けた事業者に対し、一時金の交付を予定しているが、該当しない事業者があるものと懸念している。

それら事業者への市独自の支援策を補正予算により迅速に対応する。

イベントで会場設営等は民間に委託すべき！



市長 状況を見ながら、検討をしてみたいと思う。

問 喜多方市主催の催しやイベントにおいて高いノウハウの必要ない例えば会場設営等については民間の企業等に委託を考えた方がいいのではないかと。そのような企業の設立を計画する若手経済人もいるようだし、観光交流課をはじめイベントを多く抱える部門には、机運び椅子運び等の業務を離れていい企画を考えるような頭を使った仕事に専念させるのも必要ではないか？

答 状況を見ながらいろいろと検討して参りたいと思います。

問 高齢化が進む本市の状況を踏まえ、選挙での投票について、要介護に認定されている方や遠隔地にお住まいの方々が投票がしやすくなるような努力を行政ももっとすべきと思う。

例えば、自動車の中に投票箱を設置し日時と場所を決め巡回して回るとか、遠隔地もっと多くの集落で期日前投票を可能にするとか、考えてみてはいかが？

答 また、郵便投票が可能な方の対象をもっと広げるよう国に要望すべきと思うがどうか？

選挙管理委員の皆様さんと議論をしてみたいと思います。

伊藤 弘明 議員



学校は地域の核、地域づくりと一体で存続を



市長 統廃合ありきでなく現状のままでの存続も検討する

矢吹 哲哉議員



問 2060年の人口予測で適正配置の検討には無理があるのでは

答 短期間で変わらないうように長期的視点から検討が必要である。本市の長期人口ビジョンを基に推計した生徒数を使用。クラス替えができるよう、小学校は1学年2クラス、中学校は3クラス以上が望ましい規模とした。

問 文科省は適正配置基準について、「適正配置基準」での統合が困難な地域については、小規模校の存続は市町村の判断を尊重するとしている。市当局は地域づくりの展望・ビジョンを示し持続

可能な地域・農村づくりと一体に学校のあり方を示すべきである。学校は地域の核であり地域になくってはならないと考える。

答 地域性を考慮した小規模校の存続については文科省と同じである。統廃合ありきではなく、現状のままの存続についても検討していく。

問 地域から学校がなくなれば、若者の農村ばなれは加速する。地方創生で若者の移住定住を図るとした方針と逆になる。農村地域に学校は必要ではないか。

答 今年度は市総合計画の見直しの年で、農業・ビジョンの見直しをする。学校の適正配置計画については、市総合教育会議の中で論議していく。

本市の公共交通の利便性を高めるための施策は？



市長 昨年実証実験をスタートさせたまちなか循環線バスの利用率を高めていく

問 昨年10月にまちなか循環線バスの実証実験がスタートしているが利用実績は？

答 これまで80日間の運行で79人の利用がある。月を追うごとに利用者の数が増えていくため、少しずつ認知度が上がってきていると感じている。まちなか循環線バスの利用者の多くは年配の女性で、通院や買い物のための利用が多い状況となっている。

今後、通勤や通学等の利用者層への周知も図り、利用の促進に繋げていく。

問 スマホ等での予約システムや運行情報発信を充実する計画はないのか？

答 利用のし易さを考えると、スマートフォンなどによるオンライン予約や電子決済のサービスは、利用者の利便性だけに留まらず事業の効率性の観点からも有効であると考えている。令和3年度から「地域公共交通計画」の策定に着手することから、ICT技術の活用についても検討していく。

蛭川 靖弘議員



入田付上水道整備事業の供給開始までのスケジュールは！



佐藤 忠孝 議員

市長 今後2年間で本事業を完了し令和5年度から供給予定



問 入田付地区上水道事業の進捗状況について伺う。

答 平成27年に国庫補助事業として岩月町上岩崎分岐から入田付新田まで上水してタンクに貯蔵、その落差で供給する事になるが、今後の工事の内容を伺う。

答 入田付地区上水道事業の工事は令和3年度は治里地区と平沢地区で千180メートルの排水管布設工事及び配水池ポンプ場運転を監視するための電気計装設備工事を実施予定である。

また、令和4年度には水道管布設箇所延長6千46メートルの舗装工事を行い、平成27年に着手した本事業は全て完了する予定である。



る。

問 蔵の湯の管理について、蔵の湯は市民の方々が憩いの場として温泉を利用されているが、サウナ室については、狭く最大7名の入浴が精一杯である為、改築の検討を伺う。

答 現在、サウナ室の構造、経費面で問題があり難しい面もあるが、管理者と協議して検討する。

討論

討論とは、議題となっている案件について、表決の前に、賛成・反対の意見を表明することをいいます。

議案第4号
令和3年度喜多方市一般会計予算

議案4号への反対討論

コロナ感染防止をはじめ、切実な住民の要求を実現することがなによりも求められている。

しかし、令和3年度当初予算は、「市債バランスを考慮するから、新市建設計画に載せた事業は集中して予算を投入する」と変更した。

経常費については、毎年度削減し、令和3年度は10%削減方針とした。それによって学校では保護者負担が増えていることから、この方針の中止を求める。

新市建設計画に計上した大型建設事業の県立病院跡地複合施設整備、塩川駅周辺整備など大型事業ラッシュの予算。一方、塩川児童クラブでは今年度の入

所希望者が180人と、予想した160人を大きく上回り、過密状態は深刻で、抜本的な改善が緊急に求められている。大型事業は見直しが必要である。

一極集中から地方分散への地域振興を図るとき、小学校は歩いて通える地域にこそ必要。現在すすめている小中学校の統廃合計画は中止すべきである。

賛成討論

新型コロナウイルス予防対策や市総合計画、新市建設計画に計上してある事業などを実施するための予算であり市民生活に必要な予算が計上されている。

10%マイナスイシューリングについては中期財政計画にあるものは対象にしておらず、大型事業も必要である。経常収支比率が非常に高い状況を踏まえ、十分財政に配慮して実施する必要がある。市民生活を守る大切な当初予算に賛成する。

陳情第2

市内在住及び市内企業勤務の労働者とその環境に関する意見書提出を求める陳情

反対討論

請願・陳情

次のとおり審査されました。

本会議で採択された請願や陳情は、市議会の意向を意見書等にまとめ、市当局や関係機関へ、その実現を要望します。(各意見書はホームページでご覧いただけます。)



請願名 提出者(敬称略)	趣旨	委員会 (賛成：反対)	本会議 (賛成：反対)
請願第1 福島県の最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書提出の請願 日本労働組合総連合会福島県連合会 耶麻喜多方地区連合会 議長 佐藤 誠治	福島県の最低賃金の引き上げ、その早期の発行等を求めるもの	産業建設常任委員会 採択 全会一致	採択 全会一致
請願第2 75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求める意見書提出の請願 喜多方生活と健康を守る会 会長 酒井 宏和	医療費負担において、高齢者、とりわけ年金が低い方、無年金の方など、現在のコロナ禍において安心して医療にかかる環境が大きな問題であるとして、窓口負担2割化の中止を求めるもの	文教厚生常任委員会 採択 全会一致	採択 全会一致
請願第3 75歳以上の医療費負担2割化の徹底審議と負担増を行わないことを求める意見書提出の請願 耶麻喜多方地区高齢・退職者連合会 会長 芥川 久	医療費の2割負担は、高齢者の健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を脅かすものであり、安易な負担増を行ってはならないとして、徹底した審議と負担増を行わないことを求めるもの	文教厚生常任委員会 採択 全会一致	採択 全会一致
請願第4 学校における甲状腺検査の継続を求める意見書提出の請願 女性会議喜多方支部 代表 田部 芳枝	甲状腺検査をめぐり、学校での集団検診を見直す動きが高まっていることから、子供の健康の見守り、甲状腺の状況を把握し続けるため、学校での従来検査方法の継続を求めるもの	文教厚生常任委員会 採択 全会一致	採択 全会一致
陳情第1 障がい者雇用に関する意見書提出を求める陳情 佐藤 晋	障がい者が働きやすい環境、障がい者の雇用拡大及びその実態の調査等を求めるもの	文教厚生常任委員会 採択 全会一致	採択 全会一致
陳情第2 市内在住及び市内企業勤務の労働者とその環境に関する意見書提出を求める陳情 佐藤 晋	労働者の雇用環境において、一層の実態調査の実施や労働環境改善のための対策等を求めるもの	産業建設常任委員会 不採択 (0：6)	不採択 (0：21)

臨時議会が開催されました

令和3年第1回臨時議会（1月26日）及び第3回臨時議会（3月25日）が、それぞれ開催され、令和2年度喜多方市一般会計補正予算、令和3年度喜多方市一般会計補正予算などが提案された。特に新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種関連及び経済対策に関する審議が行われた。

主な補正予算は次のとおりです。

●令和3年第1回臨時議会



- 災害情報連携システム設備再構築業務委託契約について 契約金額9億2119万3900円
- 新型コロナウイルスワクチン接種経費 2億1487万2千円
- 令和2年7月28・29日発生の豪雨による被災農地・農業用施設及び林業施設の復旧事業経費
- 令和2年度除雪経費 補正額1億6709万7千円
- 市道豊川・慶徳線橋梁整備工事請負契約について 契約金額1億4510万1千円

●令和3年第3回臨時議会



- 新型コロナウイルスワクチン接種経費 5332万1千円
- 中小企業振興対策経費 1億4340万6千円



1月26日は、国が進める「感染症蔓延を防止するワクチン接種」に関し、市の役割、事業実施のスケジュール、予算が示され令和3年度に繰越すことで可決した。

3月25日は、医師会との協議によるワクチン接種方法について、健康状態を把握している「かかりつけ医」や身近な医療機関での「個別接種」方式とし、具体的な支援対策及び経済対策が提案され可決した。

問 かかりつけ医等での個別接種になるが、スムーズで、密を避ける環境をどう整えるのか？

3月末に医療機関にも説明に入る。スムーズで、混雑などでの感染を避ける環境づくりは医師会も市でも準備・対策は徹底する。

問 ワクチン接種で高齢者の交通費（タクシー利用料金）の支援は、接種が2回あり負担が重くなる。また、周辺地域では集団接種が必要ではないか？

医師会と協議を行い「初めての接種」であり、安心して受診するため予約を取り「個別接種」とした。
交通費支援（喜多方・塩川2

千円、熱塩加納4千円、山都5千円、高郷6千円）は、足りない部分がある。更なる支援の方法は接種状況を見て検討する。

問 接種後の副反応で痛みや高熱が出るなど強い症状の報告がある。不安解消へどう対処するのか？

副反応については、接種案内のQ&Aなどで周知する。症状は、他国と比較して日本での割合は高く、痛みや発熱も多い。医師会と共通認識に立って周知する。

問 中小企業者応援一時金事業（一律10万円交付）で、事業規模が違うのに何故一律の交付なのか？

国・県の緊急事態宣言等による支援金を受ける対象にならない市内事業所からの嘆願書、事業者へのアンケートでも86%の事業者が影響を受けている。

これらの背景から、市として一律に幅広く千四百事業者を対象に交付。今後必要な支援・経済対策を実施する。

※その他、観光誘客対策として、「喜多方の魅力再発見もっと泊まってみんなえキャンペーン事業」についても審議した。

各常任委員会からの政策提言

令和3年3月16日、喜多方市議会基本条例第11条の規定に基づき、遠藤忠一市長へ、市民生活の向上、市政の伸展及び自治の発展のため、各常任委員会が2年間の委員会活動で調査・研究した知見をもとに取りまとめた事項について、政策提言をしました。

総務常任委員会

住民自治の充実・強化に関する提言

- (1)住民の住民自治に係る意識醸成
- (2)住民自治の担い手の確保と育成、意見交換の場の創出
- (3)広域的な地域自治運営組織の設置と拡充



文教厚生常任委員会

子育て支援の充実に関する提言

- (1)直営型の子育て交流・支援施設の整備
- (2)育児力を高めるよう子育て世代包括支援センターの全市での構築、各地区への整備
- (3)子供の居場所づくりへの継続的な支援
- (4)家庭教育支援チームと福祉機関の連携による支援体制の整備
- (5)私立保育施設における保育士の重点的確保
- (6)成長期の食育指導と地場産食材の安定的提供による安心で安全な学校給食の実践

産業建設常任委員会

空き家対策に係る政策提言

- (1)行政区との連携
- (2)空き家に対する支援制度の拡充

若者が働き続けられる環境を整えるための政策提言

- (1)中小企業及び小規模企業を振興する条例の制定
- (2)学校・事業所等と連携した取組の展開
- (3)若者の意見・ニーズを把握するための調査の実施

議会改革推進会議、議会運営委員会、議会広報編集委員会においても同様に、2年間の委員会活動の中で調査・研究を実施し、その成果を報告書にとりまとめ、議長へ提出しました。

議会運営委員会

議会改革に関する審議報告

- (1)タブレット活用とペーパーレス化の推進
- (2)タブレット活用研修会の実施
- (3)議会広報広聴委員会の設置
- (4)新型コロナウイルス感染防止のための議会対策

議会広報編集委員会

広報広聴活動実施の研究報告書

- (1)「議会だよりモニター制度」についてよりわかりやすい紙面づくり
 - (1)「おじゃまします市議会です」の企画、掲載
 - (2)アンケート調査の実施と紙面の改善
- ### 市民と連携した広報広聴の一体的取り組み
- (1)議会広報モニター制度の研究と実施準備

各種団体との意見交換会を実施しました

文教厚生常任委員会

○政策テーマに関して、各種団体との意見交換会を実施しました。

・チームもも（令和2年12月11日）

地域全体で子育てをする環境づくりに努めており、活動するうえで抱えている問題や行政に対する希望などについて意見交換しました。

・私立保育関係者（令和2年12月11日）

「保育施設の定員や保育士の確保」や「保育環境の充実のための施策」などについて意見交換しました。



○行政調査

令和2年12月17日（木）午前10時30分～熱塩小学校を訪問し、熱塩加納型学校給食についてご説明をいただき、実際に学校給食の試食をさせていただきました。



（献立：枝豆ごはん、鶏肉のピーナッツがらめ、りっちゃんサラダ、けんちん汁、ぶどうゼリー、牛乳）



産業建設常任委員会

○政策テーマに関して、各種団体との意見交換会を実施しました。

・会津喜多方商工会議所（令和3年2月1日）

意見交換のテーマ

- (1) 県立喜多方高等学校と県立喜多方東高等学校の統合に伴う旧校舎等の利活用について
- (2) きたかたプレミアム付商品券事業について
- (3) 若者が働き続けられる環境づくりについて

新たに議会広報広聴委員会を設置！

これまで、市議会だよりの編集を中心に活動してきました「議会広報編集委員会」を「議会広報広聴委員会」に改正し、広報（伝えること）と広聴（聴くこと）の一体的な取組により、議会の情報をお伝えすることはもちろん、市民の皆様の声を広くお聴きしながら、議会活動を進めてまいります。

喜多方市議会会議規則の一部を改正しました。

喜多方市議会会議規則の「欠席の届出」の事由を改正

女性をはじめ多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備の一環として、議員として活動するにあたっての制約要因の解消のため、議員が議会の会議に出席できない事由を「出産」「育児」「看護」「介護」及び「配偶者の出産補助」と具体的に例示して明文化しました。

政務活動費

議会の活性化と議員の調査研究その他の活動の充実を図るため、必要な経費の一部として会派に対し交付されるものです。各会派の収支の状況をお知らせします。

令和2年度 政務活動費 会派別及び使途別収支一覧表

(単位：円)

会派名	新良致会	創造喜多方	高和会	公明党	日本共産党 喜多方市議団	和同の会	結いの会
会派構成	佐藤忠孝 五十嵐吉也 小島雄一 伊藤弘明 上野利一郎 齋藤勘一郎 十二村秀孝 山口文章	齋藤仁一 渡部勇一 坂内鉄次 長澤勝幸	渡部一樹 後藤誠司 佐原正秀	小林時夫 菊地とも子	小澤誠 矢吹哲哉	山口和男 蛭川靖弘	田中雅人
収入内訳							
交付額	1,920,000	960,000	720,000	480,000	480,000	480,000	240,000
収入合計 (A)	1,920,000	960,000	720,000	480,000	480,000	480,000	240,000
支出内訳							
調査研究費	0	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0	0
広報費	503,146	356,483	259,457	169,329	501,136	223,096	174,113
広聴費	0	0	0	0	0	0	0
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	2,362	0	0
資料作成費	73,423	62,994	0	0	0	0	16,830
資料購入費	86,058	32,344	0	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	7,818	0	0	0	0	0
支出合計 (B)	662,627	459,639	259,457	169,329	503,498	223,096	190,943
収支差引額 (A-B) ※1	1,257,373	500,361	460,543	310,671	△ 23,498	256,904	49,057
市への返還額	1,257,373	500,361	460,543	310,671	0	256,904	49,057

6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/30	31	6/1	2	3 本会議 (開会、会期決定、 提案理由説明等)	4 休会 (議案調査)	5
6	7 本会議 (一般質問)	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11 本会議 (議案審議)	12
13	14 委員会 (各常任委員会 付託案件の審査)	15 休会 (事務整理)	16 休会 (事務整理)	17 本会議 (委員長報告、 各案件決定、閉会)	18	19
20	21	22	23	24	25	26

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、体調のすぐれない方、風邪症状がある方の傍聴はご遠慮いただきますようお願いいたします。

なお、傍聴される方は、手洗い・手指の消毒とマスクの着用、入場前の検温にご協力をお願いいたします。今後の状況によっては、対応が変わることもありますので、ご了承ください。



きたかた FM
議会中継 78.2MHz

定例会の様子を録音放送しています。
開会日の翌週、平日の午後2時～午後5時は、ラジオ放送をぜひお聞きください。

議会
インターネット中継

開会中はライブ(生配信)を視聴できます。
過去の配信映像も視聴できます。



喜多方市議会公式facebookページを開設しています。
<https://www.facebook.com/kitakatashigikai/>



市議会だよりアンケート調査の結果について

令和3年2月、市議会だよりについて、市民の皆さまがどのような印象を持ち、関心を寄せているかを把握することを目的としてアンケート調査を実施しました。

今後は皆さまからいただいたご意見、ご感想、提言を活かしながら、「広報」と「広聴」の一体的な取り組みにより、内容の更なる充実を図ってまいります。

なお、アンケート結果の詳細は後日、市議会のホームページにアップいたしますので、ご覧いただきたいと思います。



取材レポート

目指します 患者を支え寄り添える看護師を

(特集2・3ページをご覧ください。)



明治のナイチンゲールと称えられた瓜生岩子刀自生誕の地に、大正13年耶麻産婆看護婦講習所として設立以来、数回の校名変更を経て、昭和56年に現在の校名に至った、喜多方准看護高等専修学校を訪問し意見交換をしてきました。

生徒さんは、会津管内はもとより、山形県内からも通学していることや、10代はもちろん社会人経験者や主婦の方など、幅広い年齢層の皆さんが、目標達成のため頑張っている姿に感動をいたしました。

資格取得を目指し勉学に取り組むことができるのは、安心して学べる環境が整っていることだそうです。中でも「先生との信頼関係が築かれていることが一番の力になる」との

ことでした。

准看護師資格試験合格率100%の実績を築いてきたのは、まさに、ここにあるのではないのでしょうか。私たちの命を守る看護の道を志す尊い「金の卵」の皆さんへエールを送ります。

議会に望むことでは、「議会が遠い存在ではなく、もっと身近な存在になるよう、情報発信を工夫して欲しい」「看護師を目指す人への支援の充実」等の貴重なご意見をいただきました。皆様の声をかたちにできるように取り組んでまいります。



背景の絵柄は「喜多方の染型（県有形民俗文化財指定）」「流れに紋入牡丹」です。



編集後記

私たち、現広報広聴委員で作る最後の議会だよりになりました。

この間一貫して議会の内容をいかにわかりやすく伝えるか、これだけを考えて編集してきましたが、意見が合わず会議が長引くこともありました。

しかし、広報の重要性は皆の認識が一致しており、今後、広聴の取組と一体となった広報広聴委員会として再出発します。乞う、ご期待！
小島雄一

議会広報広聴委員会



- | | |
|------|----|
| 委員長 | 長澤 |
| 副委員長 | 小島 |
| 委員 | 矢吹 |
| 山口 | 文章 |
| 後藤 | 誠司 |
| 委員長 | 勝幸 |
| 副委員長 | 雄一 |
| 委員 | 哲哉 |
| 山口 | 文章 |
| 後藤 | 誠司 |
| 委員長 | 蛭川 |
| 副委員長 | 菊地 |
| 委員 | 田中 |
| 山口 | 文章 |
| 後藤 | 誠司 |